

島根大学 秋季学位授与式 式辞

本日、ご卒業、修了を迎えられました法文学部、教育学部、総合理工学部、生物資源科学部の卒業生計 15 名，人文社会科学研究科修士課程、自然科学研究科博士前期課程総合理工学研究科博士後期課程の修了生計 11 名の皆様，そして関係者の皆様，ご卒業・修了，おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、それぞれの夢や目的、学びに対する高い志と熱意をもって、島根大学に入学され、幅広い教養と、専門分野に関する確かな知識・技能を修得され本日、学位記を授与されることとなりました。

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、私たちの生活、そして、皆さんの修学環境は一変しました。昨年度からオンラインによる授業が本格的に導入され、従来の対面式による授業とオンラインを活用した授業を併用するなど、図らずも教育 DX(デジタル・トランスフォーメーション)が進展することとなりました。感染拡大により、皆さんにはキャンパスへの立ち入りや課外活動等の制限によりご不便をおかけしましたことを残念に思っています。また、留学生の皆さんには、慣れない環境での感染症拡大の事態に不安な日々を過ごされたことと思います。さらに、祖国におられる家族、親族、友人等の状況も気がかりだったことと推察します。このように厳しい状況の中、皆さん自身のたゆまぬ努力と精進により、本日、学位記を授与されるに至りましたことをお慶び申し上げます。

皆さんには、島根大学在学中に得ました教職員や友人、そしてご支援頂きました地域の方々などのご縁を大切にしてください。また、皆さんを支え、ご成長を見守って頂きましたご家族に対しまして、感謝の気持ちを持ち続けて頂きたいと思えます。

さて、2016 年の我が国における第 5 期科学技術基本計画で提言された Society 5.0 の実現に関しましては、今年 3 月に策定されました第 6 期科学技術・イノベーション基本計画において、その社会像を「持続可能性と強靱性を備え、一人ひとりが多様な幸せ (well-being) を実現できる社会」と表現し、その実現に向けた「総合知による社会変革」と「知・人への投資の好循環」が提言されました。まさに、現代社会はデジタル化を梃に急速に変容しており、今般のコロナ禍によ

り、この動きは一層加速されるでしょう。ウィズコロナ、ポストコロナ時代に向けての社会構造の変化は著しく、超スマート社会の実現に向けて科学技術が進化し、私たちの生活様式も大きく変わろうとしています。一方では、地球温暖化や海洋汚染等の深刻な環境問題も顕在化し、SDGs の実現、カーボン・ニュートラルに向けての活動が急展開しています。

この度のパンデミックによって示されたように、グローバル化、ボーダーレス化が進展された今日では、様々な現象は瞬く間に全世界に波及します。先ほど述べました社会情勢や課題は全ての国・地域・人々の課題です。不確実性が増している国際・社会情勢の中で、皆さんには我が国の最高学府の卒業生・修了生として、国際的視野を持って新世代をデザイン・構築し、持続可能でより良い社会の実現に寄与することが期待されています。皆さんには現状を正確に認識し、将来をしっかりと見据え、時にはリスクを覚悟して果敢にチャレンジし、確かな自己と豊かな感性、柔軟な発想力を持って、明るい新世代の構築に向け澁刺とご活躍下さい。そして、どのような状況においても、置かれた環境の中で最善を尽くすことが最も大切です。今出来ること、すべきことを着実に取り組むことによって道は拓かれます。皆さんの人生を自ら果敢に切り拓いていかれることを願っています。

島根大学は創設以来 70 年を超える歴史を歩んでまいりました。今日までに 60,000 名を超える同窓生が世界各地で活躍しています。また、国内各地の他、海外 6 カ国にも本学の同窓会があります。多くの同窓生が皆さんをお待ちしています。是非、お近くの同窓会にご参加頂き、年代を超えた島根大学のネットワークを様々にご活用されることを願っています。

島根大学は、皆さんを末永く支援してまいります。一方、皆さんには同じ学舎で学んだ先輩として後輩を支援し、本学をさらに盛り上げるための良きステークホルダーになって頂くようお願い申し上げます。

皆さんの輝かしい前途を祝し、また、これまで皆さんの成長を大きな期待を持って支え見守って下さったご家族、関係者の方々へ改めてお祝い申し上げ、学位授与式の式辞と致します。

令和 3 年 9 月 17 日

国立大学法人島根大学
学長 服部泰直